

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		回収数		公表日	
つくば市保育所等訪問支援事業所		6/6		令和7年4月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6	0	〈工夫点〉利用者の支援の必要性に合わせて教具教材を取り入れている。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	〈工夫点〉 ●複数の（2名）の職員で支援に出ている際は、それぞれの視点で利用者の様子を確認することができる。 ●利用者の課題に応じた支援ができる専門職を担当している 〈改善点〉 ●複数の職員での支援は利用者や訪問先との日程調整が難しい場合がある。 ●利用希望者が増えた場合には、職員が不足する可能性がある。	●現在は、各種専門職を配置し、課題に応じた支援ができているが、利用希望者数に対応できる職員数の安定的確保が必要。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	〈工夫点〉 ●定期的な定例会を実施。課題があれば都度相談をしている。 ●担当者同士や定例会で振り返る機会を持っている。 ●定期的な会議の場で課題を共有し、改善方法を検討している 〈改善点〉 ●様々な職種の意見が聞けるとよい。	●課題を様々な職種で共有し、業務改善につなげる方策を検討する機会の確保（時間の確保）が困難。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	〈工夫点〉 ●保護者からは、面談や連絡等を通して、必要に応じてお話を伺っている。 ●保護者の支援ができない場合もあるが、丁寧に保護者に伝えるように努力している。 〈改善点〉 ●事業所評価の今年度から実施しているため、保護者からの意見を把握し業務改善につなげていきたい。	●事業所評価を今年度から実施しているため、評価表を基に業務改善に取り組むのは、次年度からとなること。
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	〈工夫点〉 ●毎月の定例会などで支援の内容などを把握し、必要に応じて意見交換ができている。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		●第三者による外部評価を実施していないこと。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	〈工夫点〉 ●定期的な研修を受講し、担当者で共有する機会を確保している。	
	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	0	〈工夫点〉 ●多職種で子どもの状況を把握して支援内容を検討している。 ●事前訪問等でこどもの状態を評価し、計画に反映している。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	〈工夫点〉 ●子どもの支援に関わる担当者が個別支援計画の内容を確認して、共通理解を図っている。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0	〈工夫点〉 ●支援前に事前訪問で訪問先の様子を確認して個別支援計画に盛り込んでいる。	

適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	〈工夫点〉 ●定例会以外にも電子会議室（庁内業務システム内）で支援計画や支援の内容を共有している。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	〈工夫点〉 ●必要に応じて複数の職員で同行し、様子を共有している。 ●アセスメントツールは使用していないが、子どもの行動観察をする際は様々な職種の職員で行っている。 〈改善点〉 ●今後、誰でも手軽に使用できるアセスメントツールがあれば使用を検討する。	●行動観察や情報収集などインフォーマルなアセスメントは複数の職員で実施し、適切な評価ができるようにしているが標準化されたアセスメントツールの使用を検討していないこと。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	〈工夫点〉 ●利用者やその家族のニーズに合わせた具体的な支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	〈工夫点〉 ●支援計画を元に毎回支援内容の確認を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	〈工夫点〉 ●担当で確認する時間を設けている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	〈工夫点〉 ●つくば市保育所等訪問支援事業所連絡会を市と連携して開催している 〈改善点〉 ●まだ事業の周知が不十分のため、連携体制は十分ではない。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	〈工夫点〉 ●就学先と直接共有していないが、共有できると良い内容などは保護者にお伝えしている。訪問園とは共有できている。 〈改善点〉 ●支援期間が限られているため移行支援までの対応が難しい点。	●保護者をととして、就学先との情報共有を行っているが、就学に向けた移行支援の体制整備の検討が必要。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	〈工夫点〉 ●相談があった場合は、その都度対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	6		●現在、活動概要や連絡体制等の情報を発信することは実施していないため、情報発信方法を検討する必要があること。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4	〈改善点〉 ●家族等への周知が不十分。	●福祉支援センターとよさとの児童発達支援事業と合わせて、感染症対応マニュアルや虐待防止マニュアル等については、職員に周知しているが、訪問先のマニュアルやルールなどについては、事前に確認するなどの対応ができていないこと。 ●非常時等の対応ややむを得ず身体拘束を行う場合などの説明を十分行い、了解を得ること。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保育所等訪問支援計画に記載しているか。	4	2		